

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業			担当部局庁	総合教育政策局		作成責任者	
事業開始年度	平成30年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	生涯学習推進課		生涯学習推進課長 石橋 晶	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	日本再興戦略改訂2015(平成27年6月30日閣議決定) ニッポンー億総活躍プラン(平成28年6月2日閣議決定) ー億総活躍社会の構築に向けた提言(平成29年5月10日自由民主党ー億総活躍本部) 働き方改革実行計画(平成29年3月28日働き方改革実現会議決定) 「まち・ひと・しごと創生総合戦略(2016改訂版)」(平成28年12月22日閣議決定) 第3期教育振興基本計画(平成30年6月15日閣議決定)			
政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進			主要経費	教育振興助成費			
施策	1-4 生涯を通じた学習機会の拡大							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-04.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	産業の高度化やグローバル化の進展の中で、職業はより専門化し、職業人として専門的な知識・技能が求められるようになっていくことが予想され、地域産業を担い、実践的に活躍し、あるいは我が国の産業を牽引していく人材を各分野において養成するための職業教育の充実がますます重要なものになってくる。これを踏まえ、専修学校が担っている実践的な職業教育の魅力発信力を強化することで、職業教育への理解を促進し、職業接続を含めた幅広い視野からの進路選択をできる流れを構築する。							
現状・課題 (5行程度以内)	我が国では「学問の教育より職業技能の教育が一段低く見られ、大学(特に選抜制の高い大学)に進学すること自体を評価する社会的風潮がある」ともいわれており、アカデミックな教育を受けることに意欲・適性を持った者ばかりでなく、職業技能教育に適性を有する者等が、いわゆる「高学歴志向」・「大学志向」の流れに沿って、大学進学をしている場合もある。また大学入学後に、十分な目的意識や意欲を持って学修に取り組めないなどのミスマッチを抱える者も少なくなく、大学でも職業意識や職業的自立に必要な能力を十分身に付けないまま卒業して、職業・社会とのミスマッチが生じているとの指摘もある。こうしたミスマッチを解消すべく、実践的な職業技能教育を行う専修学校を含めた適切な進路選択が行われていくよう、専修学校の一層の認知度向上を図っていく必要がある。							
事業概要 (5行程度以内)	専門学校や高等専修学校が担う実践的な職業教育に関する理解を促進するため、中学校や高等学校、企業等、各ステークホルダーを意識した、効果的な情報集約・情報発信等の在り方・手法について検討・検証を行い、専修学校教育の認知度向上に係る取組を実施する。							
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/content/20230330-mxt_syogai01-000028190_1.pdf							
実施方法	委託・請負							
補助率等	-							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	52.1	41.9	37.7	37.4	37.4	
		補正予算(B)	-	-	-	-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-		
		予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	52.1	41.9	37.7	37.4	37.4		
	執行額(G)		37.8	36.2	36.8			
	執行率(%) =(G)/(F)		73%	86%	98%			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		73%	86%	98%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		教育政策推進費			※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。		
	(目)		教育政策推進事業委託費	36.3	36			
	(目)		委員等旅費	0.4	0.4			
	(目)		職員旅費	0.3	0.3			
	(目)		庁費	0.3	0.3			
	(目)		諸謝金	0.1	0.1			
			その他	0	0			
	計(A)		37.4	37.4				

活動内容① (アクティビティ)		主に中高生を対象に、中高生が専修学校を認知し、興味を持ち、進路選択の検討につなげるため、専修学校の魅力を発信することを目的とした広報サイト「＃知る専」の運営を行う。当該サイトでは、各専修学校が制作した特色ある教育活動や卒業生から見た仕事の面白さなどに関する動画・記事の掲載等を行う。また各種広報媒体を駆使しサイトへの流入も促す。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		広報サイト「＃知る専」を中心とした各種広報媒体における魅力あるコンテンツの発信	広報サイト「＃知る専」で発信した動画・記事数	活動実績	件	101	106	80	－	－
				当初見込み	件	60	60	60	60	60
↓	成果目標①～1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	各種広報媒体における魅力あるコンテンツの発信を通し、中高生等が専修学校を認知し興味を持つことで、専修学校に関する情報を集約した広報サイト「＃知る専」の訪問につながると考え、直接的な短期アウトカムとして「広報サイト『＃知る専』訪問者数の増加」を設定した。								
成果目標及び成果実績 ①～1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		専修学校を認知し興味を持った中高生等を増やすことによる広報サイト「＃知る専」訪問者数の増加	広報サイト「＃知る専」を訪問したユーザー数	成果実績	ユーザー	6,516	27,815	76,218	－	
				目標値	ユーザー	5,000	13,032	55,630	152,436	
				達成度	%	130.3	213.4	137	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		広報サイト「＃知る専」ユニークユーザー数(文部科学省調べ)								
↓	成果目標①～2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	広報サイト「＃知る専」を訪問し、専修学校への理解深化や魅力発見が促されることで、進学先として専門学校を選択する高校生が増加すると想定し、長期アウトカムとして「専門学校進学率の増加」を設定した。 進学先の決定にあたっては複合的な要因が絡み合うため、必ずしも専修学校を認知し理解を深めたからといって進学先として選択されるわけではないかもしれないが、「高学歴志向」・「大学志向」の流れに沿って、「とりあえず大学進学」を選択するのではなく、選択肢の一つとして専修学校をまず考えてもらう、あるいはなりたい職業を見つけてそのための専門知識を身に付けるために専修学校に行く、といった行動変容を促し、結果的に専門学校進学率の増加につながることも考えられるため、「専修学校を含めた適切な進路選択が行われていく」という本事業の成果を定量的に図る指標として、「専門学校進学率の増加」を設定した。								
成果目標及び成果実績 ①～3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度	
		専門学校進学率の増加	高等学校卒業生及び中等教育学校後期課程卒業生のうち、専修学校専門課程に進学した者の占める比率	成果実績	%	17.3	16.7	－	－	
				目標値	%	16.9	17	17.1	－	
				達成度	%	102.4	98.2	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		学校基本調査								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								
		－								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	－								
	URL	－								
	該当箇所	－								

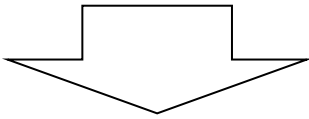
事業所管部局による点検・改善																											
点検結果		本事業は、職業教育の理解を促進し、職業接続を含めた幅広い視野から、適切な進路選択を実現できる流れを構築するための事業であり、高等教育機関への進学後や就職後等のミスマッチを社会全体で減らすべく、国が総合的に推進していく必要があり、国費投入の必要性も高い。 支出先の選定にあたっては、令和4年度に複数者による企画競争を行い、外部有識者による審査を経て、最も点数の高い企画提案者を選定しているため、支出先の選定方法は妥当である。 アウトプットとしての発信したコンテンツ数は一定程度の量を確保できており、短期アウトカムである広報サイト「#知る専」を訪問したユーザー数は増加傾向にある。令和4年度においては、スポット的にYouTube等でサイトのプロモーション広告を流したこともあり、こうした取組が増加要因として考えられる。															目標年度における効果測定に関する評価（令和6年度実施）										
改善の方向性		広報サイト「#知る専」の流入者を増やす一方で、専修学校の理解深化や魅力発見を促進するため、訪れたサイトの見やすさやコンテンツの質的充実も重要であるので、長期アウトカムである専門学校進学率の増加につながるよう引き続きサイト・コンテンツの改善に取り組む。																									
外部有識者の所見																											
外部有識者による点検対象外																											
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見																											
現状通り		本事業は成果目標の設定等について、事業の目的・内容の達成手段として適切であると判断できることから、特段の見直しの余地は無いものと考えられる。改善の方向性に記載の通り、広報サイトの質的充実に向けて取り組まれない。																									
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																											
現状通り		引き続き事業の効率的かつ効果的な実施に努めるとともに、成果指標の達成に向けて取り組んでいく。																									
過去に受けた指摘事項と対応状況		公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ																									
		上記への対応状況																									
		その他の指摘事項																									
		上記への対応状況																									
備考																											
下記のリンクに「専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業」の成果物を掲載している。 https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/1280784.htm																											
関連する過去のレビューシートの事業番号																											
平成23年度		－																									
平成24年度		－																									
平成25年度		－																									
平成26年度		－																									
平成27年度		－																									
平成28年度		－																									
平成29年度		新30-0001																									
平成30年度		新30-0001																									
令和元年度		文部科学省	－			0033																					
令和2年度		文部科学省				0027																					
令和3年度		2021	文科		20	0026																					
令和4年度		2022	文科		21	0026																					

※令和4年度実績を記入。なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省
36. 8百万円

※本省執行分
①諸謝金 0.1百万円
②職員旅費 0.1百万円
③委員等旅費 0.6百万円
④庁費 0.1百万円
を含む。

審査委員会を設置し、委託先の選定及び事業成果の評価等を行う



委託【随意契約(企画競争)】

A. 株式会社日経ビーピー
35. 9百万円

専修学校が担う職業教育に関する理解を促進
するため、効果的な情報集約・情報発信等の在
り方・手法について検討・検証を行い、専修学校

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	広報用メディアプランの企画・運用、サイト改修費 等	19.4			
	人件費	職員人件費	13.2			
	一般管理費	光熱水費 等	3.3			
	計		35.9	計		
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載				チェック		

